

○益子慎哉議長 日程第1，一般質問を行います。

昨日に引き続き，通告順に発言を許します。

6番木村郁郎議員の発言を許します。木村郁郎議員。

〔6番 木村郁郎議員 登壇〕

○6番（木村郁郎議員） おはようございます。6番木村郁郎でございます。議長より発言のお許しをいただきましたので，通告に従いまして一般質問を始めさせていただきます。

今回は，大項目で3項目についてお伺いいたします。

初めは，シビックプライド～常陸太田が好きで誇りに思う気持ち～の醸成によるまちづくりを担う人材の育成についてお伺いいたします。

当市においては，人口減少に歯止めをかけるため，「子育て上手常陸太田」をキャッチフレーズに掲げ，新婚家庭家賃助成や住宅取得促進助成などの積極的な施策の展開により出生数が増加傾向に転じるなど，少子化・人口減少対策について一定の成果があらわれてきていると感じております。しかし，経済的支援施策については他自治体も同様な施策を打ち出してきており，市町村間での差別化を図ることが非常に難しくなっているという現状があります。今後は限られた財源の中で，今まで同様の経済的支援を継続させるとともに，地域産業の育成や就職・結婚・妊娠・出産・育児といった総合的環境整備がさらに求められてきております。

そのような状況の中で策定された第6次総合計画においては，「市民のだれもが生涯活躍できるまちづくり」をまちづくりの理念に掲げ，まちの将来像として，「幸せを感じ，暮らし続けたいと思うまち常陸太田～子育て上手その先へ さらなる魅力の創造～」の実現を目指し，今後10年間の行政運営の基本方針が示されました。

第6次総合計画基本構想の今後のまちづくりの課題の1つであるまちづくりを担う人材の確保と育成と，当市のまちの将来像である「幸せを感じ，暮らし続けたいと思うまち常陸太田」を実現化するため，そして市民の誰もが幸せを実感し，常陸太田市に暮らし続けたいと思うようになるためには，シビックプライド，繰り返すようになりますけれども，常陸太田が好きで誇りに思う気持ち，つまり，「市民が本市のよさに気づき，育て，共有し，このまちが好き，このまちで暮らし続けたい」という強い思いが生まれる必要があると強く感じております。また，市民だけでなく，市外の方にも常陸太田市はよいまちだ，常陸太田市で暮らしてみたいと思ってもらう気持ちを形づくることも大変重要となります。

しかし，計画策定時に行ったアンケート調査によりますと，市の住み心地について，「住み心地がよい」と感じている人は，75歳以上の方では多いのですが，18歳から29歳の若年者に少なくなっており，また若年層において，「常陸太田市が好き」という地元への愛着度は52.1%となっており，将来を担う若者に対して住み心地をよくしていくための取り組みがさらに必要であることを示しています。同時に，市内外に向けて常陸太田市の魅力積極的に情報発信していくことにより，愛着度の向上を図っていただきたいと思っております。

そこで①として，シビックプライドを醸成させるための情報発信の現状についてお伺いいたします。また，さらなる魅力を想像することにつながる②として，今後の情報戦略についてもあわ

せてお伺いいたします。

次に2問目として、安全安心なまちづくりについての中から、今回は通学路の安全確保に関する取り組みについてお伺いいたします。

市内の交通事故発生件数は、平成27年度138件と減少傾向であり、ここ数年、小中学生の登下校時の交通事故も発生していないとのことですので、この傾向が継続していくことを願っております。しかし、茨城県内の小中学生が関係した交通事故の状況を見ますと、小学生では、登下校時の歩行中の事故が歩行時の事故全体の49.4%、中学生では、登下校時の自転車での事故が自転車事故全体の50.5%、登下校時の歩行中の事故が歩行時の事故全体の33.3%となっており、登下校中に事故に遭う割合が高いことがわかります。交通安全指導、登下校指導等、ソフト面での対策とあわせて、対策が必要な箇所についての歩道整備やガードレール設置のようなハード面での対策も通学時の交通事故を防ぐために必要な対策になります。

平成24年4月以降、京都府での軽自動車と集団登校中の児童と保護者との事故、その後も愛知県の岡崎市、千葉県館山市などでの通学途中での事故を受けて、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生しております。

当市では、平成24年8月に各小学校の通学路において、関係機関と連携して緊急合同点検を実施するとともに、必要な対策内容についても関係機関で協議し、緊急性、実現性の高いものから通学路交通安全対策を実施していただいているところと存じます。

そこで1点目として、通学路の安全対策を講ずる必要のある改善要望の状況についてお伺いいたします。2点目として、安全確保のための関係機関と市役所所管課との連携についてお伺いいたします。

次に、3問目として、生活環境の整備についての中から、市内の各種公園のあり方についてお伺いいたします。

公園には、都市公園として、街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園、運動公園等の種類と、そのおのおの種類の役割があるわけですけれども、当市の公園の設置状況についてお伺いいたします。

そして、ご承知のとおり、公園は子どもたちの育ちの環境において重要な役割を担い、公園の環境は子どもたちの育成にも大きな影響を与えます。少子化・人口減少対策に歯止めをかけるべく、「子育て上手常陸太田」を掲げる当市といたしましては、公園環境を良好な状態で管理、維持していくこと、そして今後も引き続き、「子育て上手その先へさらなる魅力の創造」を図っていくためには、子育て世代の親子を対象にした安心して遊べる公園についても今後検討していく余地があるのではないかと考えますが、子育て世代を対象とした公園のあり方についてのお考えをお伺いいたします。

以上、3項目6点についてお伺いして、私の1回目の質問を終わります。ご答弁よろしくお願ひいたします。

○益子慎哉議長 答弁を求めます。政策企画部長。

〔綿引誠二政策企画部長 登壇〕

○綿引誠二政策企画部長 まちづくりを担う人材の確保についての、シビックプライド～常陸太田が好きで誇りに思う気持ち～の形成についてに関する2点のご質問にお答えいたします。

初めに、シビックプライドを醸成するための情報発信の現状についてお答えいたします。

情報発信のため市が行う広報につきましては、市民の意見やニーズを酌み取り、これらを政策に反映させ、市民の理解を得るとともに、市民の積極的関与を促すためのコミュニケーション活動であると考えております。さまざまな事業やイベント等を実施しても、市民が知らなければ事業を実施していないことと同じであると、こういった認識のもと、多くの情報を発信しております。

本市における情報発信の現状について申し上げますと、まず、「広報ひたちおおた」やお知らせ版などの広報紙を発行いたしまして、市の政策や現状などについてわかりやすく紹介するとともに、各種事業の案内や募集に関する情報を提供しているところでございます。また、市のホームページやフェイスブック、ツイッター、メールの一斉配信など、SNSの活用によりまして、市政に関する最新情報や災害情報などについて、リアルタイムでの配信をしておるところでございます。さらに、市の認知度及びイメージアップのための活動にも積極的に取り組んでおります。

本市は「子育て上手常陸太田」をキャッチフレーズに、他市に先駆け子育て支援に取り組んでおりますが、このPRに当たりましては、マスコットキャラクター「じょうづるさん」をポスターや動画など、あらゆる広報媒体に活用し、市の認知度及びイメージの定着化に努めているところでございます。また、本市出身、または本市にゆかりのある方で、各分野においてご活躍されている方々を常陸太田大使として市のPR活動をお願いしているところでございます。

なお、県の庁舎内やJR駅へのポスター掲示、またはJR駅の電子掲示板にありますアドビジョンへの動画及び静止画の掲載、常磐線の特急ひたち車内LED掲示板への広告など、効果の見込める広報媒体を活用した戦略的な広報にも努めているところでございます。

次に、今後の情報戦略についてお答えいたします。

市が行う情報発信の目的は、市の認知度の向上及び市民への情報提供による情報の共有化でありまして、市民の方々には常陸太田市のよさを感じられるよう、より多くの情報を提供し、本市のさまざまな側面を知っていただき、市への愛着を深めることで、市民から波紋のように情報が広がっていくことであると考えております。そのため、今後におきましても、市民に必要な情報を分析するとともに、必要な情報をいつ、誰に、どんな手段で、どのように伝えていけばよいかを緻密に考え、より効果的かつ戦略的な情報の発信に努めてまいりたいと考えております。

また、引き続き市内外に向け、市の認知度及び好感度の向上のため、じょうづるさん、常陸太田大使、SNSなどさまざまな広報媒体を活用するとともに、パブリシティを強化いたしまして、メディアには積極的に情報の提供を行いまして、メディアを通じた市の魅力の発信に努めてまいりたいと考えております。

○益子慎哉議長 教育長。

〔中原一博教育長 登壇〕

○中原一博教育長 通学路の安全についてお答えいたします。

市ではこれまでも子どもたちが安全・安心に通学ができるように、通学路の危険箇所の改善に取り組んできており、市の関係部署、それから関係機関との連携により、できるだけ早く危険箇所の解消に努めているところであります。

ご質問の通学路の改善要望の状況でございますが、昨年度は小中学校から73カ所の改善要望が提出されております。その要望事項を見ますと、歩道の設置や拡幅の要望が50件、信号機や横断歩道の設置が15件、ガードレールの設置が5件、標示板やカーブミラーの設置が3件ありました。

市では、平成25年8月に、通学路における児童生徒の安全を確保することを目的に、常陸太田市通学路安全対策連絡協議会を設置しており、常陸太田工事事務所、太田警察署、学校長会、PTA連絡協議会、市の関係部署及び教育委員会でメンバーが構成され、毎年度学校から報告を受けた改善要望の箇所について合同点検を行うとともに、協議会において改善策を協議し、対策を行っているところであります。

こうした取り組みにより、平成25年度に協議会を発足してから、これまでに関係機関等の協力により32カ所の改善を図ることができました。しかしながら、中には改善に時間を要する場合もあり、信号機の設置など申請をしてから設置までに数年かかるものや、歩道の整備など用地取得をしなければならず、長期的な取り組みが必要な箇所もございます。

市ではこのような危険箇所が早期に改善できるよう、今後におきましても協議会において合同点検を実施するとともに、改善策を協議し、子どもたちが安全に、そして安心して通学ができるよう関係部署に対し改善を働きかけ、通学路の安全対策を講じてまいりたいと考えております。

○益子慎哉議長 建設部長。

〔真中剛建設部長 登壇〕

○真中剛建設部長 生活環境の整備について、公園のあり方についてお答えいたします。

初めに、公園の設置状況についてでございます。一口に公園と申しましても、住居地区の身近な公園であり、かつて児童公園と言われた街区公園や都市のシンボルとなる運動公園など、利用目的や大きさ等さまざまでございますが、常陸太田市の都市部における公園は、これら大小合わせて73カ所でございます。このうち遊具を設置している公園が36カ所、水飲み場を設置しているものが14カ所、トイレを設置しているものが3カ所でございます。また、子育て上手を掲げる本市といたしましては、平成25年度に山吹運動公園に親子で楽しめる複合型遊具や親水広場を整備し、多くの子育て世代の親子に利用され、大変好評をいただいているところでございます。

続きまして、子育て世代を対象とした公園のあり方についてでございます。

公園に対して求められる機能、効果は時代とともに変化してきております。以前は子どもが遊ぶ場所であるとか運動する場所としてなど、特定の目的が強く求められてきておりましたが、利用者の多様性と時代の変化から、現在ではこれらに加え、地域コミュニティの場や防災効果など、さまざまな存在意義が求められております。

このような状況の中、働く場の創出や買い物環境の改善を目指し、現在進めております東部土

地区画整理事業の計画地の中に、付近の住民や買い物に来られた方などが利用できる公園の整備を計画しております。計画の詳細につきましては検討中でございますが、子育て世代を初め、多くの市民に親しまれる公園を整備してまいりたいと考えております。

また、既存の公園も含め、適切な維持管理に努めるとともに、今後は、先ほど申し上げました73カ所の中には面積も小さく、今となつては利用頻度が低くなつたものもございますので、このような公園のあり方についても検討、見直しを行い、あわせて情報提供におきましても、関係部署とも連携し、ホームページや市報などをより充実させたものにし、公園の利用促進に努めてまいりたいと考えております。

○益子慎哉議長 木村議員。

〔6番 木村郁郎議員 質問者席へ〕

○6番(木村郁郎議員) 全ての項目について、詳細なご答弁をいただきありがとうございます。

大項目1(1)①、シビックプライドを醸成させるための情報発信の現状については理解いたしました。再質問ではありませんけれども、1つ付け加えさせていただきたいと思ひます。

SNSの活用によりまして市政に関する最新情報を配信しているとのことでしたが、当市へふるさと納税をしてくださった方へも各種情報をお知らせできればよりよいのではないかなと感じました。ふるさと納税をしていただく段階で、お客様、先方のメールアドレスは既におあずかりをしているということがございますので、納税者の希望を確認した上で、最新情報を配信することにより、当市をより身近に感じていただいて、ますます当市を好きになっていただけるのではないかなと感じました。

②今後の情報戦略については、パブリシティの強化についてお示しをいただきました。パブリシティとは宣伝方法の1つで、広告料金を支払わずに、結果として広告の効果が得られるというような記事、番組を作るように働きかける活動のことですけれども、情報、まして、よりよい情報は、必ず人から人へ良好なつながりがある中でもたらされるものでありますので、各種メディアとの良好な関係の構築に努めていただければ広告の効果も大幅に増大するのではないかなと思ひます。

今回の質問では、情報発信を中心に、シビックプライドの醸成についてお伺いいたしました。シビックプライドが高まることで定住志向が高まり、まちづくりを担う若い人材が集まります。市民と行政が手を携えて、常陸太田市のさらなる魅力を想像してまいりたいと考えております。

大項目2の(1)①、②、通学路危険箇所の改善要望状況について及び安全確保のための関係機関、市所管課間の連携について、子どもたちが安全かつ安心して通学ができるように、通学路の危険箇所の改善に取り組んでいただきましてありがとうございます。先ほどのご答弁の中で、改善を要する場合があります、信号機の設置や歩道の整備など、用地取得が必要な場合には改善までに時間を必要とし、長期的な取り組みが必要な箇所があるということございましたけれども、対応がなされるまでの当面の安全対策についてはどのようになされているかについて、再度お伺いをいたします。お願いします。

○益子慎哉議長 教育長。

○**中原一博教育長** 長期的な対応が必要な危険箇所は、先ほど申し上げましたように用地取得を必要とする歩道の整備等が多い状況でございます。対策としまして例を挙げますと、歩道設置が困難な箇所は、路面標示や標示板を設置したりすることにより、ドライバーへの注意喚起を促したり、また、子ども安全ボランティア等による見守り活動をしていただいたりするなどの策を講じているところでございます。

○**益子慎哉議長** 木村議員。

○**6番(木村郁郎議員)** 総合計画の中にも、地域子ども安全ボランティアの方の人数を増やし、見守り活動にご協力をいただくことが施策指標に掲げられています。ドライバーへの注意喚起とあわせた安全対策をお願いいたします。

それでは、通学路改善要望箇所の中から1カ所について、安全対策内容の検討状況についてお伺いしたいと思います。

箇所名称は、新宿町、寿町、国道293号太田中入口交差点から太田二高前、寿橋間歩道についてです。位置図、写真などが用意ございませんので状況がわかりづらいかと思っておりますけれども、その点は申しわけございません。

この道路は、国道293号と市道が交わる太田中入口交差点から源氏川沿いに連続した緩やかなカーブが続くわけですけれども、交通量が多く歩道が狭い箇所があるため、改善要望に至ったものと思われま。安全対策内容の検討状況についてお知らせください。お願いします。

○**益子慎哉議長** 教育長。

○**中原一博教育長** 議員ご指摘の国道293号太田中入口交差点から太田二高前、寿橋間の歩道の対策についてお答えいたします。

当該箇所の歩道を拡幅するには道路自体を広げなければならず、用地買収等を行わなければなりません。早急に抜本的な改修をすることは困難な状況にあるため、当面、要望の中にありましたけれども、個人所有のプランターが設置されていたり、庭の樹木が歩道にせり出したりして生徒の通学に支障を来しているということもありましたので、関係部署等の協力を得ながらプランターの撤去及び樹木の伐採を所有者にお願いし、改善したところでございます。また、夏場には雑草が歩道にせり出し通行に支障を来すため、年2回除草を実施しているところでございます。

○**益子慎哉議長** 木村議員。

○**6番(木村郁郎議員)** ありがとうございます。

この改善要望箇所についても、やはり用地買収が必要なため、早急に改善が困難であることについて理解いたしました。通学の安全に支障を来さないような対策、改善、ただいまご答弁いただいたような対策、改善をよろしくお願ひしたいと思います。今後も引き続き、通学路危険箇所ができるだけ早期に解消されますよう、関係機関との連携強化を図り交通安全対策に取り組んでいただければと存じます。

続きまして、大項目3の(1)①、②です。

市内公園の設置状況並びに子育て世代を対象とした公園のあり方についてご答弁をいただきま

した。設置状況については理解いたしました。

子育て世代を対象としたこれからの公園のあり方については、今般良好に管理をされた公園の整備について質問するに当たりまして、73カ所ある公園のうち、子育て世代の親子に良好な外出環境をお知らせすることを目的としたホームページや「子育て上手常陸太田」の小冊子に掲載されている10の公園を私も見てまいりました。

先ほどのご答弁にもございましたが、確かに公園に対して求められる機能、効果は、私が子どもであった40年以上前とは大きく変化し、利用者が多様化してきているため、地域コミュニティとしての要素や防災効果など、さまざまな存在意義が求められていることは理解できます。ぜひ、東部土地区画整理事業計画地内に整備を計画している公園や、今後検討、見直しが図られる公園においては、多様化するニーズに応えた市民に親しまれる公園を整備していただきたいと存じます。

子どもたちが遊ぶ児童公園としての役割を担ってきた既存の公園の整備についても、近くに住む幼稚園生、保育園生などの小さな子どもが楽しく遊んでいる姿を私たちもイメージをしながら公園の環境整備に取り組んでいただきたいと存じます。

以上で私の一般質問を終わります。ありがとうございました。